新火葬場建設3候補地の課題整理と新たな候補地について

1. 結 論

- (1) 新火葬場建設候補地選定委員会で提案された3候補地のうち、2ヶ所については事業化が困難。
- (2) 新火葬場の建設候補地については、コンセプトを踏まえて再選定を行う。
- (3)合併特例債の適用期限である27年度末の稼動とする。

2. 新火葬場建設候補地の課題整理と事業実現性

候補地	主な課題	事業の実現性
長瀬町	①敷地確保のため大規模な造成工	①敷地確保のための用地取得、造成工
(現火葬場)	事と、造成残土の持ち出しが必	事に膨大な経費を要する。
	要。	②進入路の新設は、膨大な経費と時間
事業費	②進入路は、住宅地を回避して新設	を要する。既存道路の拡幅等は、周
約 30 億円	するか、既存の道路を拡幅するか	辺が住宅団地であり実現に時間を
	2通りがあるが、新設の場合は大	要する。
	規模な道路建設となり、既存道路	・以上のことから、27年度までの実
	は主要道路との交差部の改良、用	現は困難。
	地取得等が必要。	
高田町岩曽根	①鉛含有土壌の除去を要する。ま	①鉛含有土壌の除去に膨大な経費を
(旧射撃場)	た、鉛分布状況の詳細調査が必要	要するうえ、処理期間・経費の目処
	で、その結果によっては除去土量	が立たない。
事業費	の増加が予想される。	②③④大規模な造成工事となるうえ
約 38 億円	②敷地確保のため大規模な造成工	道路整備に多くの地権者の土地取
	事が必要。	得が必要となり、経費も要する。
	③林道廃止、市道認定を要する。	・以上のことから、27年度までの実
	④主要道路から約 1,300mの道路整	現は困難。
	備や水道施設整備が必要。	
笠原町森下	①隣接した住宅、工場がある。	①周囲の緩衝帯となる緑地帯を設け
(旧し尿処理場)		ると、施設建設に充分な面積を確保
事業費		できない。
約 22 億円		・27年度までの実現は可能と考えら
		れるが、制約が多い。

3. 新たな候補地の考え方について

建設候補地選定委員会では、既存の市有地を対象に選定を行ったが、火葬場としての理想を反映したコンセプトのもとに新たに候補地を選定する。

【コンセプト】--- 新火葬場建設に係る庁内検討委員会の報告書から抜粋

・心の和む空間、やすらぎを与える尊厳のある施設(葬送の場)

【コンセプトを踏まえた施設の条件】

- (1)施設とは、建物に限定せず敷地を含めた総合的なもの。
- (2)主要幹線道路から生活道路を経由しないで進入できる場所。
- (3) 周囲に緑地帯等を設けることができ、静寂感を確保できること。
- (4) 大規模な造成工事が必要でないこと。

4. 新たに検討の対象とする土地

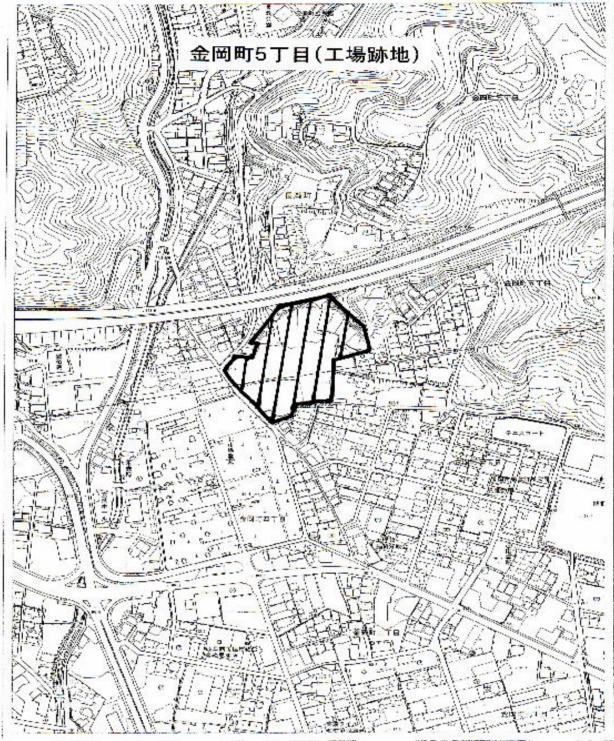
庁内建設プロジェクトチームで、下記の土地について技術的な面において検討中である。今後 追加も含めさらに絞込み、新たに発足する建設候補地選定委員会にて検討を行う。

候補地	用途	台帳面積(m²)	地目	所 有	費用	
大藪町上迫間洞	市街化調整区域	8, 062	ため	多治見市	約22億円	
(ため池)		(1筆)	池			
松坂町3丁目	市街化調整区域	14, 756	山林	私有地	約23.5億円	
		(2筆)			邓23.3亿户	
金岡町5丁目	第1種住居地域	8, 552	宅地	私有地	約9m 苺田	
(工場跡地)		(15筆)		(共有)	約25億円	
笠原町梅平	無指定(白地)	85,016	山林	多治見市	约05 5	
(笠原クリーンセンター)		(1筆)	(**)		約25.5億円	
笠原町森下	準工業地域	8, 659	山林	多治見市	約22億円	
(旧し尿処理場)		(2筆)	宅地		ボリ <i>乙 乙</i> 1息 门	

[※] 現況は廃棄物処分場

5. 今後のスケジュール

	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	25年度	26年度	2 7年度			
候補地選定・決定	\longleftrightarrow								
調査・計画	V								
設計(土木・建築)	~	J							
敷地造成工事			V						
建築工事				<		>			
試験運転						\iff			
既設施設解体						\Leftrightarrow			



笠原町梅平(笠原クリ

